



こんにちは 府會議員

# さこ祐仁 活動報告

2008年4月13日発行 No.57

千本出水下る十四軒町392

さこ祐仁事務所

TEL075-813-2117



写真(上) 6日・街頭宣伝で、こくた国対委員長、くらた市会議員とともに訴え。(写真は千本今出川)

## ◎さこ駆け歩き ～京丹後市視察編～

3月27日・28日

原田府會議員、佛教大学の芳野教授と私で、京丹後市の京都府織物機械金属センター、丹後織物工業組合、丹工の理事さん、精錬所の役員さんにお会いして、丹後の織物の現状、今後の展望などを聞き取り調査をおこないました。

所長さんや常務理事のかたと懇談すると、「着物の裾野を広げること、丹後ブランドを広げるために海外へ挑戦して生地などは高い評価を得ているが、ある程度のところでとまり、産地全体のものになっていない」と話され、厳しさを感じました。西陣にも共通する話です。過量販売による和装不振を一掃するために、業界の努力を行政がどう応援するか求められていると実感しました。

織屋さんと話すと、「昔は技術者を養成するのに、西陣の企業が生活を見ながら技術を教えてくれました。丹後での織り手の年齢は縮緬で70歳代、帯地で64、5歳です。後継者をいまつくりないと後世に伝えられないと思う。行政は織り手が一本立ちできるまで支援すべきではないか」と訴えられていたのが印象的でした。



# 4月1日からはじまった後期高齢者医療制度に強い怒りが次々寄せられています。来る総選挙で日本共産党を前進させ、高齢者いじめの政治に審判を下しましょう！

◎2月定例議会が、3月21日で閉会しました。

私は、3月21日の本会議で、意見書・決議案についての討論に立ちました。

日本共産党は府民の暮らしと営業を守るため、「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書案」をはじめ5つの意見書案を提案。他党派提出のものを含め12の意見書案に賛成し、2つの意見書案、1つの決議案に反対する立場を明確にしました。

なお、これに先立ち、2月22日の本会議で「海上自衛隊艦艇と漁船との衝突事故に関する意見書」が、3月21日の最終本会議で「在日米軍人等による犯罪防止に関する意見書案」が、それぞれ全会派提案、全会一致で可決されています。

予算特別委員会として各委員会での書面審査にかかわって、日本共産党議員と他党派や知事との「府民目線」の違いを学びました。現場に行ってしっかりと府民の声を聞くことが議員活動の第一だと実感しました。

### ◎後期高齢者医療制度が4月1日から始まりました。ご近所

の方からも「74歳と75歳と、いったいどこが違うのか」とか「姥捨て山に追いやられるようだ」と怒りの声が出されています。



75歳を超えると医療も制限されます。その理由が、①高齢者は多くの病気を抱えている。②痴呆症が多い。③もうすぐ亡くなるという。

いう特性があるからという、ひどい内容です。そのほかにも、収入がゼロの人やこれまで「扶養家族」で負担のなかった人も保険料がかかり、2年ごとに値上がりされます。保険料は4月15日から年金から2か月分の天引きです。年金が1万5千円以下の人は保険料を直接納付です。払えないなら、容赦ない保険証の取り上げです。戦後の日本を築いてきた高齢者のかたに何ともひどい仕打ちだと、怒りを覚えます！

いま全国500を超える自治体で「中止・撤回」の声が広がっています。国会でも、日本共産党と民主、社民、国民新党の4野党が廃止法案を提出しています。新しい署名も集めて、みんなの力で中止・撤回させましょう。